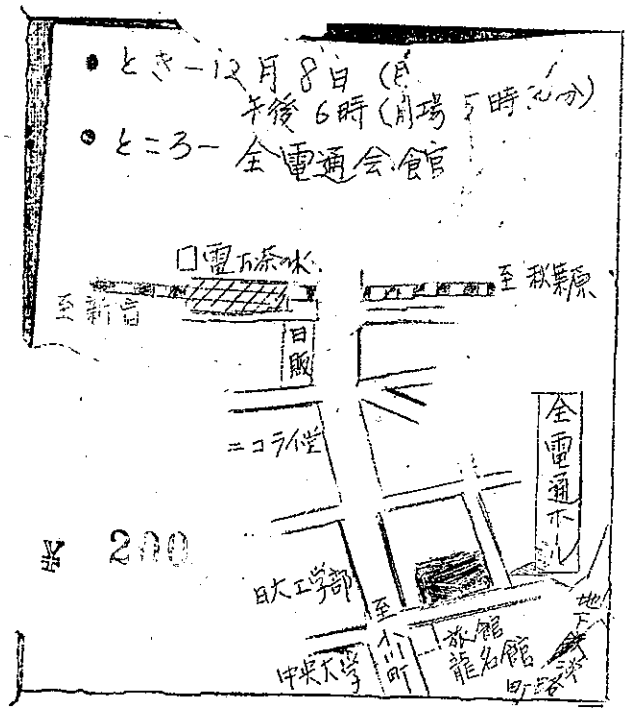
12.8 不当弾圧抗議緊急集会

反戦と反抗のための集い

映画 ・砂川反戦整備行動隊
・市大病院の臨終

講演・中島誠



私たちは、十一月十五日「日大新支配体制弾劾市民集会・デモ」を行ないました。

これには、救援父兄会のお母さんや、市民・労働者・学生など約二千名が加わり、古田と結託した佐藤の訪米阻止、日大新支配体制追求を叫びました。

機動隊は、終始片側、時には、両側規制を行ない、コヅキ回し、タテでなぐりかかるという暴行をくり返しました。

デモコースは、意図的に三度も変更され、五列縦隊の許可条件すらも、四列がやっとという状態だったのです。

こうした中で、市民二名、学生三名が、まったく不当に逮捕されたのです。

私たちは、ただむりやり、押し通そうとする安保条約に反対し、佐藤の後援会長である古田の居直り体制を認めがたいという意志を表明しただけです。

しかも、解散直後、爆発物を投げた疑いということで、全員ハンドバックやポケットの中まで、身体検査を二度にわたり受けたのです。

私たちは、全人民的意志の表示であるこの庶民集会・デモへのロコツな干渉と弾圧を許すことはできない。

この真相を伝える為に、講演と映画の集いを十二月八日に開きます。

ぜひ参加を！

主催 日大斗争救援会
星プロダクション